

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

星槎道都大学・星槎国際高等学校(北広島学習センター)

実施報告書



実施主体 星槎道都大学社会福祉学部・星槎国際高等学校(北広島学習センター)

実施内容 令和5年9月19日(火)～20日(水) 夏季集中授業にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

社会福祉士・精神保健福祉士、保育士、教員を目指す星槎道都大学の大学生と、大学と同じ敷地内にある、星槎国際高等学校北広島学習センターの高校生と一緒に学ぶことになり、一緒に第1段階として『児童虐待の現状等について理解するための講義・グループワークを行った。』

②実施期間に取り組んだ具体的内容

第1段階の学びを活かし、第2段階として『かわいいマスコットをつけたオリジナルのオレンジリボンを作成』、第3段階として『グループワークを行い、児童虐待の現状などを伝える掲示物を作成』、第4段階として『作成したオリジナルのオレンジリボンを活用した掲示物を作成』、第5段階として『作成した作品を学内外に掲示』して、ソーシャルアクションを行った。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

児童虐待やオレンジリボン運動の意味を、同じ敷地内にある大学生と高校生が学び、話し合うことで、仲間づくりに寄与した。

また掲示物などを作成することで、どんな情報を社会に提供すべきなのか学び、整理するスキルも形成され、最後に発表会を行ったことで、ソーシャルアクションのスキルも形成することができたはずである。

作成物は高校や大学の廊下に掲示をしていることから、他の学年へ、オープンキャンパスなどにも参加する地域の高校生や親のアクションにもつながっている。



【星槎道都大学】 <https://www.seisadohto.ac.jp/>

【星槎国際高等学校北広島学習センター】 <https://seisa.ed.jp/kitahiro/>